

<u>CLASSE :</u>	<h1 style="text-align: center;">フランス語で読む語学入門</h1> <h2 style="text-align: center;">～日本語編～</h2> <h3 style="text-align: center;">CEM-62/8</h3>
<u>Jour :</u>	土曜日 全3回
<u>Horaires :</u>	14:30-15:20
<u>Niveau :</u>	A1/A2
<u>M./Mme :</u>	M. Takanori SHIMAZAKI
<u>Objectifs :</u>	フランス語で文法を説明した記述を読み中級程度の読解力をや しなう
<u>Descriptif :</u>	<p>フランス語学習者は、日本語、あるいはフランス語で書かれた本によってフランス語学習を進めることになると思います。それはつまりフランス語内部の視点からフランス語を、そして日本語という外部の視点からフランス語を説明する試みです。</p> <p>そこで今回は、逆にフランス語の視点から日本語を眺めてみるという体験をしてみたいはいかがでしょうか。</p> <p>教材としてはパリ大学東洋語学校で日本語・日本文化を教えた森有正がフランス語で書いた『日本語教科書 Leçon de Japonais』を使います。フランス語がどのように日本語を説明しているかを読むことを通してフランス語の特徴を見直すと、学習ばかりでなく、フランス語で日本語を説明するための役に立つかもしれません。</p>
<u>Matériel :</u>	『日本語教科書 Leçon de Japonais』からの抜粋(事務所でプリントを配布)
<u>Remarques :</u>	